



【件名】 mRNA ワクチンを含む予防接種事業に関する検証・情報公開および住民への説明強化を求める意見書提出に関する陳情

【要旨】 地方自治法第 99 条の規定に基づき、国に対し、mRNA ワクチンを含む予防接種事業について、接種の是非の判断に資する情報の透明性確保、副反応および健康被害に関する継続的な検証の実施、ならびに住民への十分な説明体制の強化を求める意見書を提出することを求める。

また、本陳情の審査にあたっては添付資料を踏まえ慎重にご検討いただき、必要に応じて陳情者による説明の機会を設けていただきたい。あわせて、審査結果については議会だより等を通じ、住民への適切な情報提供をお願いしたい。

【理由】 新型コロナワクチン接種後の健康状態に関しては、接種直後を含む一定期間における死亡事例について、市民による情報公開請求に基づく集計データが存在し、社会的関心が継続している。

また、予防接種健康被害救済制度においても、一定数の認定事例（死亡事例を含む）が報告されており、接種後の健康影響について継続的な検証が行われている状況にある。

さらに、一部の研究報告においては、接種後のスパイクタンパク質の持続性や免疫反応に関する知見が示されており、長期的影響については引き続き検討が続けられている。

これらの状況を踏まえると、住民が接種の利益とリスクの双方について十分に理解し、自ら判断できる環境を整備することが重要であると考えられる。

そのため、国に対し以下の点について意見書を提出し、制度の改善を求める。

1. 予防接種事業（mRNA ワクチンを含む）について、有効性、安全性および不確実性に関する情報公開と説明の透明性を一層強化すること
2. 副反応および健康被害の発生状況について、継続的な調査・検証体制を充実させること
3. 予防接種後の健康被害に関する相談および救済制度の周知・運用を強化すること
4. 住民が接種の可否を判断するための情報提供の在り方について、必要な見直しを行うこと

特に、行政文書開示請求等により示された状況も踏まえ、リスクおよびベネフィットの情報
報が国民にとって理解可能な形で適切に整理・提示されているかという観点を含め、制度
の在り方について審議されることを求めます。

令和 8年 5月 26日

和光市議会議員 小嶋 智子 様

陳情代表者

住 所 和光市 [REDACTED]
氏 名 高橋 伸枝 ㊟
住 所 和光市 [REDACTED]
氏 名 長友 傑 ㊟
住 所 和光市 [REDACTED]
氏 名 小林 智里 ㊟

(ほか署名者 名)

(署名(自筆)又は記名押印が必要です。)

※陳情の提出者が市内に住所を有しない方で、

市内に在勤し、又は在学する場合

勤務先又は学校名 _____

所在地 _____

【補足資料】

資料1

全国の市民による情報公開請求に基づく接種後死亡事例の集計（コロナワクチン接種データ開示請求プロジェクト）

https://stop-mrna.sakura.ne.jp/db/lot_mortality_1day.php

資料2

「新型コロナワクチン接種後より汗疹様水疱を繰り返す症例で、表皮内汗管とエクリン汗腺にmRNA ワクチン由来のスパイクタンパクが見いだされた（和訳）」 論文 URL :

<https://doi.org/10.1111/1346-8138.17204>

資料3

疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会 新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第一部会 審議結果 （令和8年5月15日）

【参考資料】

資料①

季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの65歳以上の接種数と救済制度死亡認定数

資料②

2022年からの日本人死亡率の異常な上昇を示すグラフ

資料③

映画『レターパック裁判～勇者の証～』では、地方議員として国民を守るために奔走した議員と市民活動家たちの実話を基にした記録映画のあらすじ

資料④

新型コロナワクチン接種後後遺症の責任を自治体が回避するには

→国指示への盲従が暗示するものを警告「国が違法な接種勧奨を自治体に押しつけ、責任を転嫁する仕組み」（巨大なリスク）を回避するには？

資料⑤

mRNAワクチンの問題点

資料⑥

とうかつしみん通信 vol2 (千葉県 松戸市・流山市・柏市・野田市)

新型コロナワクチンは何だったの？ー市民データによる検証

資料⑦

まつどしみん通信 VOL4

あなたの大切な人を守れますかー新型コロナワクチン接種者と未接種の死亡率の比較

資料⑧

アフターコロナの健康づくり

泉大津市独自のコロナ後遺症・ワクチン副反応対策



ゆうこく連合 + mRNAワクチン中止を求める国民連合 コロナワクチン接種データ開示請求プロジェクト



Home | サイトマップ | お問い合わせ | 印刷版 | 2026年1月31日 | 追加情報 | 問い合わせ | お問い合わせ | お問い合わせ

例: EX3617 ※ロット名の一

全国137の市区町村から得た開示請求データから接種当日・翌日死亡者の全国推計を行いました

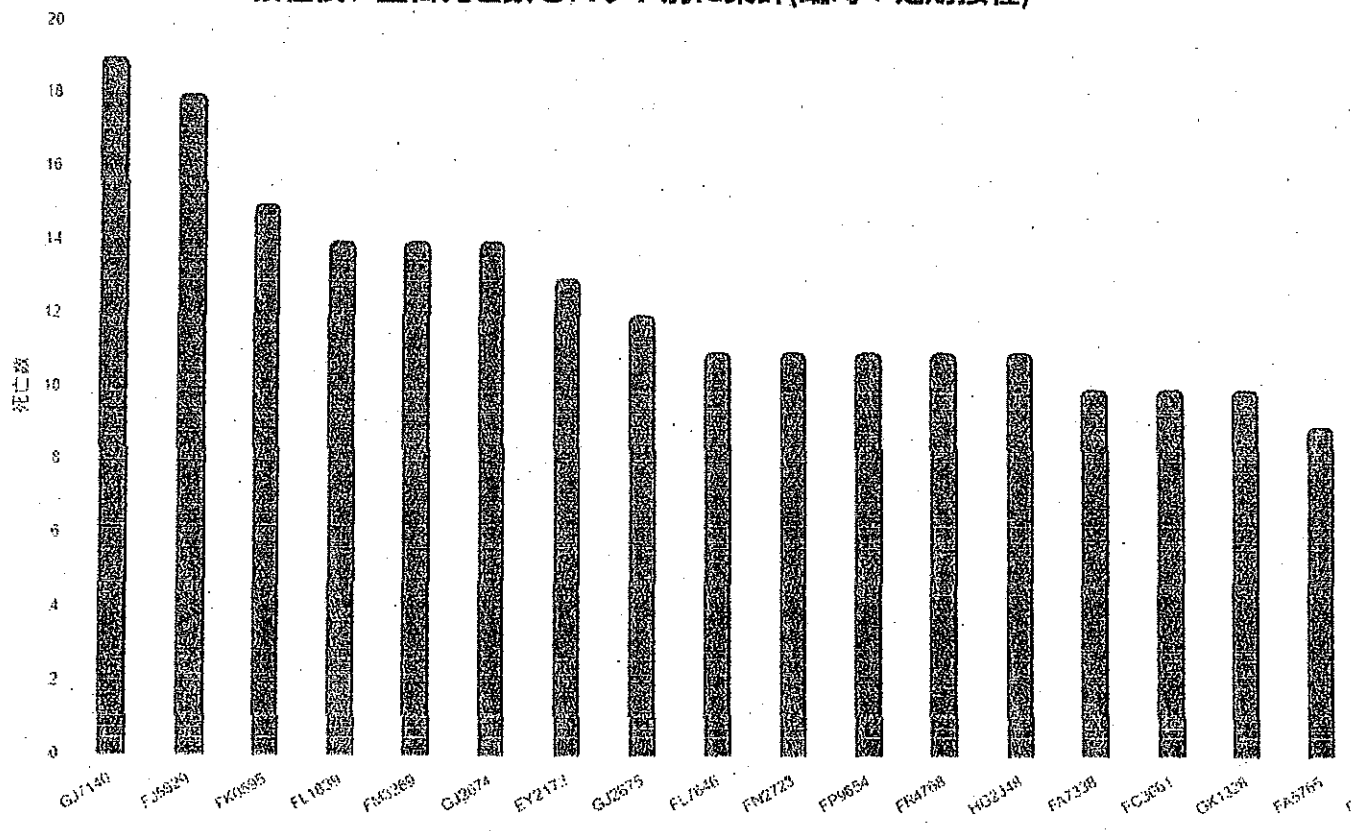
(2026年1月31日)

- 政府発表総回数(臨時接種)
436,323,643 回
- 本データベース登録総接種回数(臨時接種)
45,621,248 回
- 接種当日・翌日死亡者数 (臨時接種)
635 人

全国 推計接種当日・翌日死亡者数 **6,073人** (95%CI: 5,610 ~ 6,564人)

政府発表の総接種回数(約4億3,000万回)は、特例臨時接種における接種回数です。本データベースには、定期接種として実施された8回目接種の記録も含まれているため、推計にあたっては8回目接種を除外しました。そのうえで、本データベースに登録されている特例臨時接種の総接種回数および特例臨時接種における当日・翌日死亡数に基づき、全国の当日・翌日死亡数を推計しました。

接種後、翌日死亡数をロット別に集計(臨時+定期接種)



集計対象期間：2021年2月1日～2025年5月1日

全国自治体数：158、合計死亡数：704

順位	ロット番号	死亡数
1	GJ7140	19
2	FJ5929	18
3	FK0595	15
4	FL1839	14
5	FM3289	14
6	GJ2674	14
7	EY2173	13
8	GJ2675	12
9	FL7646	11
10	FN2723	11
11	FP9654	11
12	FR4768	11
13	HG2348	11
14	FA7338	10
15	FC3661	10
16	GK1328	10
17	FA5765	9
18	FC9909	9
19	FP9647	9
20	GJ7141	9
21	3005785	8
22	EY5420	8
23	FW0547	8
24	GJ1842	8
25	GJ5751	8
26	HG2251	8
27	HG2346	8
28	3006278	7
29	EY5423	7
30	FC5295	7
31	FC9880	7
32	GJ1857	7
33	000218A	6
34	GD9568	6
35	GJ7139	6
36	GJ9259	6
37	000001A	5
38	000012A	5
39	000028A	5
40	3006279	5
41	EX3617	5
42	EY0583	5
43	FK0108	5
44	FK6302	5
45	FR1790	5
46	GJ9258	5
47	HG2273	5

順位	ロット番号	死亡数
49	000020A	4
50	000021A	4
51	000026A	4
52	000260A	4
53	3005786	4
54	3005892	4
55	400088A	4
56	400195A	4
57	EY0779	4
58	EY3860	4
59	EY4834	4
60	FC5947	4
61	FM7534	4
62	FN2726	4
63	FT9319	4
64	GD9135	4
65	GD9574	4
66	GK1329	4
67	000008A	3
68	000048A	3
69	000198A	3
70	000221A	3
71	000237A	3
72	000248A	3
73	200042A	3
74	3005701	3
75	3006277	3
76	3006326	3
77	3006343	3
78	FA5715	3
79	FA5829	3
80	FA7812	3
81	FD0889	3
82	FF9944	3
83	FH0151	3
84	FJ5790	3
85	FN9605	3
86	FT7280	3
87	FT8584	3
88	GD9571	3
89	GJ1852	3
90	000005A	2
91	000006A	2
92	000007A	2
93	000024A	2
94	000025A	2
95	000204A	2

順位	ロット番号	死亡数
97	000232A	2
98	000262A	2
99	200044A	2
100	3005787	2
101	400085A	2
102	400181A	2
103	400186A	2
104	710011A	2
105	710015A	2
106	ET3674	2
107	EW0201	2
108	EW0203	2
109	EW0207	2
110	FA2453	2
111	FA4597	2
112	FD0348	2
113	FE8206	2
114	FF0843	2
115	FF2018	2
116	FF2782	2
117	FF3620	2
118	FF9942	2
119	FJ1763	2
120	FJ7489	2
121	FK7441	2
122	FN2716	2
123	FN2727	2
124	FP8795	2
125	GD9572	2
126	GJ1836	2
127	GJ7142	2
128	GK7844	2
129	GL8592	2
130	HG2347	2
131	HH1299	2
132	HJ3098	2
133	710007A	2
134	400087A	2
135	000011A	1
136	900207A	1
137	000211A	1
138	000219A	1
139	000220A	1
140	000233A	1
141	000249A	1
142	000267A	1
143	000268A	1

順位	ロット番号	死亡数
145	000301A	1
146	000305A	1
147	200056A	1
148	3002181	1
149	3003189	1
150	3004496	1
151	3004733	1
152	3005692	1
153	3005693	1
154	3005694	1
155	3005839	1
156	3005890	1
157	400089A	1
158	400092A	1
159	400108A	1
160	400160A	1
161	400185A	1
162	400189A	1
163	400191A	1
164	400192A	1
165	710002C	1
166	710005A	1
167	710008A	1
168	ER7449	1
169	ET9096	1
170	EW4811	1
171	EY5422	1
172	FC8736	1
173	FD0349	1
174	FE8162	1
175	FF3622	1
176	FF5357	1
177	FG0978	1
178	FN2897	1
179	GD9136	1
180	GE0905	1
181	GE5396	1
182	GL1585	1
183	HD9868	1
184	HH3284	1
185	400109A	1
186	FK7646	1
187	LL4810	1
188	LL6410	1
189	LL7309	1
190	VPA016A	1
191	B10001A	1

病位	ロット番号	死亡数
48	HG2352	5

病位	ロット番号	死亡数
96	000214A	2

病位	ロット番号	死亡数
144	000277A	1

病位	ロット番号	死亡数
192	EY5947	1

ミゆるこく送合 / mRNAワクチン中止を求めらるる副反応

mRNAワクチン接種後の女性の反復性汗疹様病変のアクロシリングウムおよびエクリン腺で発見されたSARS-CoV-2スパイクタンパク質

佐野茂敏✉、山本真由子、上島玲子、佐野穂積

初出: 2024年4月1日

<https://doi.org/10.1111/1346-8138.17204>

メトリクスを表示

PDF

この記事の要約はありません。

参考文献

1 McMahon DE, Amerson E, Rosenbach M, Lipoff JB, Moustafa D, Tyagi A, et al. Cutaneous reactions reported after Moderna and Pfizer COVID-19 vaccination: a registry-based study of 414 cases. *J Am Acad Dermatol.* 2023; 85: 46–55.

[Web of Science®](#) [Google Scholar](#)

2 Yamamoto M, Kase M, Sano H, Kamijima R, Sano S. Persistent varicella zoster virus infection following mRNA COVID-19 vaccination was associated with the presence of encoded spike protein in the lesion. *J Cutan Immunol Allergy.* 2023; 6: 18–23.

[Web of Science®](#) [Google Scholar](#)

3 Sano H, Kase M, Aoyama Y, Sano S. A case of persistent, confluent maculopapular erythema following a COVID-19 mRNA vaccination is possibly associated with the intralesional spike protein expressed by vascular endothelial cells and eccrine glands in the deep dermis. *J Dermatol.* 2023; 50: 1208–1212.

[CAS](#) [PubMed](#) [Web of Science®](#) [Google Scholar](#)

4 Aldén M, Olofsson Falla F, Yang D, Barghouth M, Luan C, Rasmussen M, et al. Intracellular reverse transcription of Pfizer BioNTech COVID-19 mRNA vaccine BNT162b2 in vitro in human liver cell line. *Curr Issues Mol Biol.* 2022; 44: 1115–1126.



5 Trougakos IP, Terpos E, Alexopoulos H, Politou M, Paraskevis D, Scorilas A, et al. Adverse effects of COVID-19 mRNA vaccines: the spike hypothesis. *Trends Mol Med.* 2022; 28: 542-554.

[CAS](#) [PubMed](#) [Web of Science®](#) [Google Scholar](#)

文献を引用



PDFをダウンロード

WILEY ONLINE LIBRARYについて

プライバシーポリシー

お問い合わせ

Cookiesについて

Cookieを拒否します

アクセスとリダイ

Wiley ResearchのIDに同意する声明と出版ポリシー

ヘルプとサポート

お問い合わせ

モバイルアプリをサポート

ONCAと海外発行の取扱い

サイトマップ

広告

Wiley Online Libraryの著作権

Wiley Online Libraryのプライバシー

Wiley Online Libraryのヘルプ

Wiley Online Libraryのお問い合わせ

Wiley Online Libraryの著作権

資料3

疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会
 新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第一部会 審議結果

令和8年5月15日

審議件数	29
認定	3
否認	23
保留	3

<出席委員>
 磯本委員、牛田委員、遠藤委員、大平委員、大森委員、織田委員、
 加藤委員、小木曾委員、鈴木委員、富樫委員、迎委員、森委員、山内委員
 <欠席委員>
 戸部委員

性別	接種時 年齢	ワクチン	請求内容	疾病名・障害名	関連する基礎疾患及び既往症※	判定	否認 (理由)	備考
(認定)	女	60歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当	脊髄梗塞(肩関節周囲炎、石灰沈着性腱板炎、 2022/10/21~2022/11/25(120~155日目)の頸椎 ヘルニア手術のための転院を除く)		認定		
(否認)	女	40歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当	アナフィラキシー		認定		
	男	75歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当	関節リウマチ		認定		
	女	84歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	2	
	女	84歳	新型コロナウイルス 死亡一時金・葬祭料			否認	1	
	女	66歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	11歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	75歳、76歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	51歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	28歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	46歳、47歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	48歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	74歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	31歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	4	
	女	56歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	38歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	57歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	58歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	48歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	52歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	43歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	66歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	男	43歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	

性別	接種時年齢	ワクチン	請求内容	疾病名・障害名	関連する基礎疾患及び既往症※	判定	否認(理由)	備考
(否認)	女	77歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			否認	1	
	女	77歳	新型コロナウイルス 死亡一時金・葬祭料			否認	1	
	男	18歳	新型コロナウイルス 障害年金			否認	1	
(保留)	女	50歳	新型コロナウイルス 死亡一時金・葬祭料			保留		
	女	13歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			保留		
	男	32歳	新型コロナウイルス 医療費・医療手当			保留		

※ 認定された死亡事例について、疾病・障害認定審査会の審議において、死亡の原因となった疾病に関連すると評価された基礎疾患及び既往症。

(参考1) 実績(累積)

これまでの進達受理件数: 15,328件 ※本日の審議結果を含む
 認定件数: 9,476件
 否認件数: 4,628件
 現在の保留件数: 19件

否認理由
1. 予防接種と疾病等との因果関係について否定する論拠がある。
2. 疾病の程度は、通常起こりうる副反応の範囲内である。
3. 敗血症に定められる障害の状態に相当しない。
4. 因果関係について判断するための資料が不足しており、医学的判断が不可能である。

(参考2) 死亡一時金または葬祭料、障害年金及び障害児養育年金に係る件数 ※令和8年5月15日現在

死亡一時金または葬祭料	障害年金	障害児養育年金
進達受理件数: 1,979件	進達受理件数: 1,118件	進達受理件数: 31件
認定件数: 1,070件	認定件数: 223件	認定件数: 1件
否認件数: 732件	否認件数: 639件	否認件数: 24件
保留件数: 3件	保留件数: 2件	保留件数: 0件

照会先
 厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部
 予防接種課 健康被害救済給付係
 TEL 03-5253-1111

健康被害救済制度の考え方

- 法に基づく予防接種は社会防衛上行われる重要な予防的措置であり、極めて稀ではあるが不可避免的に健康被害が起こりうるという特性があるにも関わらずあえて実施しなければならぬことに鑑み、健康被害を受けた者に対して特別な配慮をするために設けられた制度である。
- 本制度による給付を受けるためには、疾病・障害認定審査会の審査を経る必要がある。同分科会においては、申請資料に基づき、個々の事例ごとに
 - 症状の発生が医学的な合理性を有すること
 - 時間的密接性があること
 - 他の原因によるものと考える合理性がないこと等について、医学的見地等から慎重な検討が行われている。
- その上で、認定に当たっては「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も対象とする」という方針で審査が行われている。

(参考)WHO: 予防接種と有害事象の因果関係評価に関するマニュアル

- ✓ 個別事例について、予防接種と予防接種後に生じた有害事象の因果関係を厳密に証明することは通常不可能である。
- ✓ 多くの場合、予防接種を原因とすることが収集されたエビデンスと①整合的か、②不整合的か、③不確定かを、以下のような点を考慮しつつ判断するにとどまる。
 - ・ 予防接種と有害事象の時系列
 - ・ 疫学的なエビデンス
 - ・ 生物学的な妥当性
 - ・ 他の要因による説明可能性
 - ・ 予防接種と当該有害事象の関連性に関する事前のエビデンス

ほぼ同じ接種回数で、200倍の死亡認定数！

季節性インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスの 65歳以上の接種数と救済制度死亡認定数

厚生労働省公表値を集計

インフルエンザワクチン

総接種回数 1億7922万1430回

※2012～2021年度計

死亡認定

4名

新型コロナウイルス

総接種回数 1億9347万2186回

※2021～2023年度計 (2024年4月1日公表値)

※2024年度分は非公表だが数百万回と想定される

死亡認定

790名

2025年12月24日公表分まで

参考資料 ①

人口10万対

1150

1100

年齢調整死亡率

1050

1000

950

900

2021年からワクチン接種が始まり、22年以降の死亡率は予測を大きく超えている。年齢調整死亡率は高齢化の影響を排除している。

- 99% 予測区間上限を超える
- 95% 予測区間上限を超える

COVID-19

95% 予測区間上限

95% 予測区間下限

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 年

○— 年齢調整死亡率 — 予測値 95% 予測区間

参考資料②

宜保美紀氏作成原図より改変

映画

『レターパック裁判～勇者の証～』 (2024年2月公開) あらすじ



新型コロナウイルス感染症の渦中、地方議員として「一人でも多くの国民（特に子どもたち）を守りたい」と奔走した議員と、市民活動家たちの実話ベースの記録映画です。

- 全国45都道府県の有志議員・市民による「市民訴訟JAPAN」が中心となり、レターパックを活用して各都道府県知事に対する調停・訴訟を次々と提起。利権と法律の壁に真正面から挑む姿が描かれています。
- 地方議員の立場から、市民の声を受け止め、議会内外で支え続ける一人の政治家の視点が軸となっており、「地方議員として何ができるか」を強く問いかけます。
- 裁判所や議会場での攻防を通じて、国のコロナ対策の矛盾、報道のあり方、行政の硬直性を浮き彫りに。地方議員が市民とともに動くことで生まれる「勇者の証」をリアルに記録。
- 公式紹介文：「子どもたちの命と日本の未来を守るためにコロナ問題解決に取り組む全国45都道府県の有志達＜市民訴訟JAPAN＞と、その活動を見守り支える一人の政治家が挑む利権と法律の壁」
- 自主制作ながら全国約100カ所で上映され、約1万人の観客（多くが地方議員・首長関係者）を動員したドキュメンタリー寄り作品（監督：高梨由美、主演：竹森巧ほか）。
- 地方議員として「次のアクション」に活かせる実例満載。続編『レターパック裁判2～勇者のペン～』（2026年公開予定）も同テーマで、さらなる示唆を与えます。
- 地方議員の皆様にとって、まさに「自分ごと」として観られる作品です。現在も上映会形式で各地開催中。公式サイト（letterpacksaiban.jp）で上映会依頼・詳細確認をおすすめします。

参考資料③

新型コロナウイルスワクチン接種後後遺症の責任を自治体が回避するには

- 新型コロナウイルスワクチン接種後後遺症の責任を自治体（首長・議会）が回避するための対応（映画『レターバックス裁判～勇者の証～』で触れられた内容に基づく要点）：感染症法第3条・第4条を遵守し、正しい知識を学ぶ：国が定めた感染症法を正しく理解せず対策を行った結果、地方分権一括法により責任が自治体に転嫁されることを映画で指摘。自治体は感染症に関する正しい知識を深め、市民の命と健康を守る義務を果たすことで、違法行為による損害賠償責任を回避。
- 予防接種法第7条に基づき、健康状態の厳格調査を実施：市町村長または都道府県知事は、厚生労働省の定める方法で接種前に健康状態を調べ、「接種することが適当でない者」には絶対に接種を行わない。これを守らないと、後遺症・死亡事例の責任が自治体に直結する（映画で特に定期接種移行時のリスクとして警鐘）。
- 安全性データが不足するワクチン（例：レプリコンワクチン）の勧奨・予算承認を拒否：緊急特例承認ではなく通常承認の段階で国内治験データが不十分な場合、議会は予算承認をせず、首長は接種勧奨を停止。映画では「国からの転嫁」を避けるために、自治体が独自判断で実施しないことが責任回避の鍵とされる。
- リスク情報の積極開示と強制勧奨の撤回：国がベネフィットのみ強調したのに対し、自治体が後遺症・副反応情報を市民に十分伝え、任意接種であることを明確にすれば、判断材料不足による損害賠償請求を防げる（映画内で全国一斉訴訟の根拠となった点）。
- 国指示への盲従を止め、法律優先の独自対策を取る：映画の核心は「国が違法な接種勧奨を自治体に押しつけ、責任を転嫁する仕組み」。今後、感染症法・予防接種法・薬機法に則った対応のみを行い、国の方針に追従しないことで、自治体独自の違法行為責任を完全に回避。
- 映画は「首長と議会が気づかぬうちに巨大なリスクを抱えている」と繰り返し警告しており、上記を実践すれば後遺症訴訟や損害賠償から逃れられるとのメッセージです。実際の運用は弁護士等に相談の上、最新法令を確認してください。

mRNAワクチンの問題点

- ・細胞内でウイルスのタンパク質を作らせるため、自分の細胞がウイルス感染細胞と認識され、免疫システムの攻撃を受ける
 - ・ワクチン接種後に、体内のどこに分布するかがコントロールできない。生殖細胞にも分布するため、遺伝毒性リスクが考えられる
 - ・mRNAを包んでいる脂質ナノ粒子が強い毒性を持つため、強烈な炎症を発生させて自己抗体を誘導している可能性が高い
 - ・抗原として用いているスパイクタンパク質そのものが強い毒性を持つ
- 従来のワクチンのような毒素の無害化処理が行われておらず、しかもその毒物を自分の細胞に産生させるメカニズムになっている

➡だから、接種も開発も即刻中止!!



とうかつしみん通信 vol2

千葉県（松戸市・流山市・柏市・野田市）

2026年5月30日発行

皆んなが
打った

新型コロナワクチンは 何だったの!?



〈国が言っていたこと〉

〈何がどう変わった!?!〉

①感染予防効果がある!

- ・95%の有効性、2回接種すれば集団免疫OK!
- ・自分を守る、皆んなを守る思いやりワクチン
- ・岸田首相、3回目接種「種類よりもスピード」



②未知のウイルスだから ワクチン接種でしか防げない

③安全性がある



2021年6月
河野太郎ワクチン
接種担当大臣

「米国では、2億人接種して誰も死んでいない。全責任は、私が引き受ける!」と発言。

①感染予防効果はあまり無かった…

若い人はコロナで重症化しない、副反応は比較的強い。
「かなり早くから、自己判断をと我々は何度も言っている!」
→2022年11月までは言っていない。

元新型コロナ対策分科会会長
尾身茂氏の発言 (2025年6月)



②「普通の風邪と大きな差はない」



2022年8月
(日本感染症学会)

③副反応疑い報告件数：死亡者2,303人

③副反応報告者数：67,000人以上

(2025年12月31日報告分)

③予防接種健康被害救済認定者数

認定 9,465件 死亡認定 1,069件

(2026年4月13日現在)

心当たりの症状
ありませんか?

こんなに被害が出てたなんて…
なんでテレビや新聞は伝えないのかなあ!?

新型コロナワクチン後遺症の代表的な症状だよ。

ワクチン後遺症は、接種後数ヶ月～1年以上経過して発症する可能性もある。



心筋炎・心膜炎



失明・視力低下



関節痛



歩行困難



強い倦怠感



息切れ



月経不順・異常



頭痛



脱毛

その他皮膚疾患・帯状疱疹

〈全国有志医師の会資料参照〉



【野田市副反応疑い報告 (R3/5～R5/12) 41件】

※野田市HP抜粋

冷や汗、嘔気、発汗、しびれ 発熱、倦怠感、呼吸苦、じんましん、けいれん、手のふるえ、血管迷走神経反射、顔面紅潮、呼吸苦 口周囲の発赤、下痢、可逆性脳血管収縮症候群、接種側の肩の痛み、血管迷走神経反射疑い

じんましん、発熱、倦怠感、呼吸苦、じんましん、けいれん、手のふるえ、血管迷走神経反射疑い、皮膚紅斑、関節性疼痛、急性アレルギー性鼻炎、味覚障害、嗅覚障害

参考資料



このデータは、市民が自治体に新型コロナワクチン接種歴等の
情報開示請求をして、様々な項目ごとに集計したものです。
死因は分かりませんが、ぜひとも皆さんと共有したい情報です。
各自治体の市長にも集計結果報告として送付しています。

接種後短期間にこんなに多くの市民が死亡していました。
なぜ、予防接種をした後の短期間に死亡しているのでしょうか。

4市の最終接種日から
死亡日までの日数グラフ



<R6/1月時点人口>	1週間以内	1ヶ月以内	6ヶ月以内
松戸市 (49.8万人)	128	932	8,124
流山市 (21.2万人)	47	338	2,955
柏市 (43.4万人)	94	788	6,479
野田市 (15.3万人)	76	411	3,088

<102万人市民データ>

- ・接種回数回：4,257,028回
- ・接種後死亡者数：
48,773人
- ・接種情報：
1回目～7回目、R6定期接種
- ・生死情報：
2021年4月～2025年9月

接種後1週間で345人が死亡。接種後死亡者数のピークは、接種してから
約4ヶ月後でした。そして、接種後死亡者の7割が1年以内で死亡しています。

なぜ、コロナに感染しても重症化しにくい子ども・若者が、
接種後に死亡しているのか、検証が必要ではないでしょうか。

0～29歳の最終接種日から
死亡日までの日数グラフ



松戸市	流山市	柏市	野田市
0-9歳：2	0-19歳：8	0-9歳：0	0-9歳：1
10代：15	20代：19	10代：18	10代：6
20代：30		20代：36	20代：10
47人	27人	54人	17人

FM7534→9人、GL1585→8人、FJ1763→6人、FK6302→6人、FH3023→6人、
FJ7489→5人と同じ最終接種ロット番号で死亡していました。

65歳以上を対象にした令和6年定期接種後の結果です。
なぜ、接種後6ヶ月以内の死亡の割合が、こんなに高いのでしょうか。

	接種者数	死亡者数	接種後6ヶ月以内の 死亡者数	%
松戸市	23,961	761	315	41%
流山市	9,918	279	98	35%
柏市	19,444	675	278	41%
野田市	9,502	378	148	39%
合計	62,825	2,093	839	40%

<62,825人市民データ>

- ・接種情報：R6定期接種
2024年10月～2025年3月
- ・生死情報：
2024年10月～2025年9月

この死亡者数は、接種後1年以内に死亡した人数となります。
そのうちの4割が、接種後短期間である6ヶ月以内に死亡しています。

まつどしみんな通信 VOL.4

2025年9月23日発行

新型コロナワクチンの定期接種について



あなたの大切な人を守れますか

何かおかしいと感じた市民たちが子どもたちのために
協力をして活動した結果報告です。

今回は、9月12日流山市9月議会にて、うた桜子議員が市民ボランティア
による新型コロナワクチンの接種情報の開示請求したデータを基に
10月から始まる定期接種について一般質問を行ないました。
本来ならば国や自治体が国民に伝えなければならない重要な内容である
近隣市の流山市民の情報を多くの方と共有いただきたいと思います。



9月一般質問 うた桜子議員

■新型コロナワクチンの接種者と未接種の死亡率の比較

ワクチンを接種する事で、流山市民の命と健康は守られたのでしょうか。
このワクチンの安全性に問題は何もなかったと言えるのでしょうか。

〈流山市〉

2025年時点の人口21万人

住民区分	接種者	未接種者	計
住民 <small>(生計している住民)</small>	153,533	44,239	197,772
死亡者	6,541	1,249	7,790
計	160,074	45,488	205,562
死亡率	4.09%	2.75%	3.79%

※流山市開示情報・情報提供 2021年4月～2024年3月接種履歴、2021年4月～2025年3月死亡情報
※住民区分の転出者、職権削除者除く、死因は不明

接種した人の方が1.49倍死亡していた！



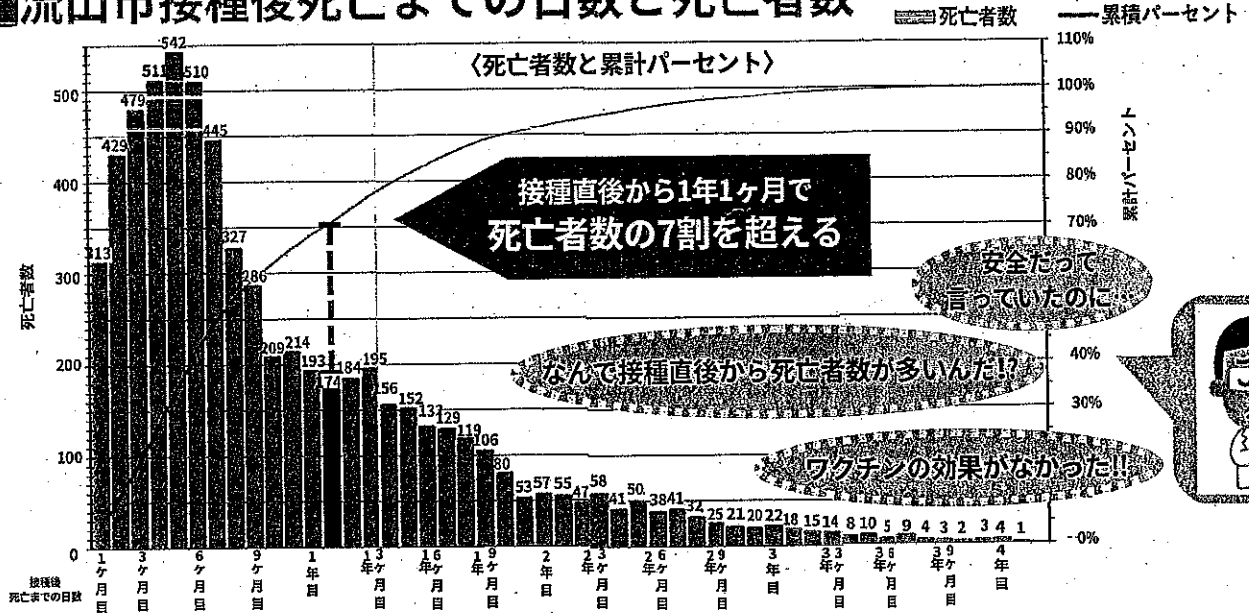
ワクチンの効果を期待して接種したのにどういう事!?
なんで、こんな大事な事が伝えられてないのか!!

参考資料

⑦

流山市2021年4月～2024年3月までに新型コロナワクチン接種をし、
2025年3月までに接種後死亡していた人数は、6,541人でした。
1ヶ月毎に集計すると 7割が接種から約1年間で死亡していました。
流山市の結果を基にすべての自治体で実体調査をするべきではないでしょうか。

流山市接種後死亡までの日数と死亡者数



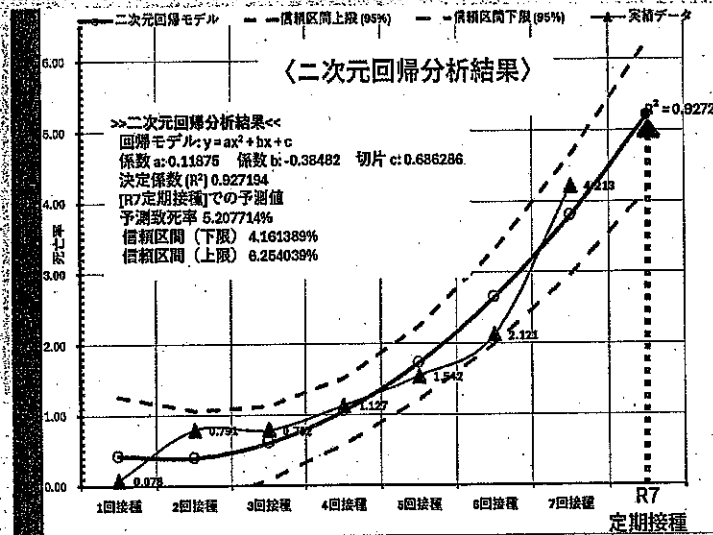
流山市年代別死亡者数

※死因は不明

Group	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	合計
死亡者数	7	17	36	99	193	386	1369	2573	1710	151	6541

年金世代の高齢者の死亡の割合が非常に高く、高齢者が接種して死亡した同じロット番号で10、20代の若年層が24人死亡していました。接種当日死亡が2人、接種4日以内で31人。その中で、20代が接種3日後で死亡しています。

流山市R7定期接種に1万人接種した場合の予測値



なぜ?
接種回数ごとに死亡率が
上がっているの!!

予測死亡率 5.207714%で
1万人が接種した場合

520人の死亡者数が
予測されます。

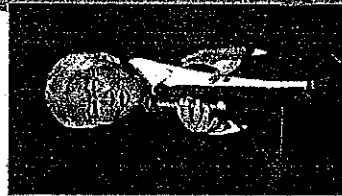
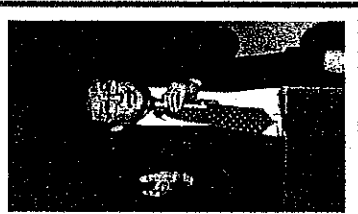
流山市は、市民の税金で1人当たりの接種費用に
1万円程度の補助金の予算を取りました。

GROUP	1回接種	2回接種	3回接種	4回接種	5回接種	6回接種	7回接種
死亡者数	130	1,311	1,115	1,063	942	817	1,163
接種者数	166,763	165,680	142,662	94,280	61,103	38,522	27,603
死亡率	0.08%	0.79%	0.78%	1.13%	1.54%	2.12%	4.21%

✳定期接種をする前にもう一度よく考えてみて下さい✳

アフターコロナの健康づくり

— 新型コロナウイルス感染症からわかってきた最新の事実 —



コロナ

健康づくり

シンポジウム

概要

開催日：令和5年7月22日
 場所：テラスヒア大阪、大ホール

第1部：3人の講師からの講話
 第2部：市長と講師のディスカッション

新型コロナウイルス感染症 た最新の事実

新型コロナウイルス感染症の感染経路上の位置づけから類に移行
 となりました。しかし、現在も後遺症やワクチン接種後の体調不良で
 悩まされる方がおられ、相談対象を絶ちません。

また、秋からは高齢士を対象にワクチン接種が始まりますが、
 今後の接種について疑問や不安を抱かれている方も増えています。

そこで今回、新型コロナウイルス及びワクチンなどに関する世界
 の状況や最新情報などについて、講師から講話を聴き、第2部
 では、これまで市が実施してきた独自の「コロナ
 対策」を振り返り、現場で感じていることなどわ
 かってきた事実、これからの健康づくりについて
 市長ディスカッションしました。



泉大津市長 南出 賢一

泉大津市独自のコロナ後遺症・ワクチン副反応対策



オンライン相談

西洋医学だけでなく、東洋医学
 など幅広い知識と専門性を有す
 る医師に、パソコンやスマート
 フォンから相談できます。



後遺症改善プログラム

統合医療に造詣の深い医師らが
 立ち合い、自然療法をはじめヨ
 カや整体などの技術を用いて自
 己治癒力を高め、症状の緩和、
 改善を目指すプログラムです。



新型コロナワクチン健康被害支援金

新型コロナワクチン接種後に副反
 応（副反応が疑いを含む）などで健
 康被害を生じ、国の予防接種後健
 康被害救済制度を申請される方に、
 申請までにかかった医療費等の費
 用の一部を泉大津市独自の「支援
 金」として支給します。



相談窓口：健康リンク
(06-6717-4567)

上記詳細とそれ以外にも、健康相談（保健セン
 ター）や新型コロナワクチン接種後の体調不良や
 長引く副反応の相談窓口（市内6医療機関）もあ
 ります

新型コロナウイルス感染症・ワクチンに関する相談先

新型コロナウイルスに関する健康相談

大阪府コロナ府民相談センター

TEL 06-7178-4567

24時間対応

厚生労働省電話相談窓口

TEL 0120-565-653

午前9時～午後9時（土日祝含む）

新型コロナワクチンに関する相談

大阪府コロナワクチン専門相談窓口

TEL 050-3613-9605

午前7時～午後10時（土日祝含む）

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

TEL 0120-761-770

午前9時～午後9時（土日祝含む）

泉大津市民の相談・問い合わせ先 泉大津市立保健センター（泉大津市宮町2-25）
 TEL 0725-33-8181 平日午前8時45分～午後5時15分（年末年始除く）

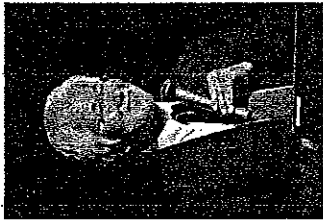
「海外における新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種との関係」

世界をめぐるとこれはコロナがはやっているのが、アッとあります。

2022年3月の最初、9か国のなかで韓国が一番多く日本は4番目でした。ところがその後他の国は減っているのですが、日本はぐんぐん感染が伸びて6月の終わりになるとトップになりました。5月8日から6回目のワクチンを打ぎ始めたから、感染が抑え始めました。これまでの世界のデータやこのことから、ワクチンを打つほど、コロナにかかりやすくなるんじゃないかと、思っています。

外国の接種率に比べると、昨年の感染から追加接種をあまりおこなっていないんですね。日本だけ、どんどん打っています。

それから、気になるのは、どうも最近、一部の人が感染が抑えていることです。心配なのは、がんの腫瘍はよく、増え方が変わって来ますね。例えば、乳がんの経過などは、ワクチン接種前の2020年と比べて、2022年は3倍くらい増えています。ワクチン接種をすると、体の中に作られたスパイクタンパクが、がん細胞の表面にあるエストラゲン受容体にくっついて、がん細胞を癌化し、がんの進行を早める可能性があるのです。



小島 繁二氏
名古屋大学名誉教授
※スパイクタンパクとは、ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質

「とにかく、事実を伝える、知ってもらう。自ら判断する力を養う。免疫力をあげるから役立つのが大切」

市田：とにかく、事実を伝えるという事です。市民に事実を伝えていただくと、ちゃんと自分で選択してもらって、流されないのが大事だと思います。

小島：まず、コロナ後遺症とワクチン入りのいわゆる後遺症と、もう一つ接種後感染後遺症があると思うのですが、市が接種している、後遺症対策はワクチンで、接種した人への人への、向かい合いがあります。

市田：コロナに接種にかかった方が早く治り、その次にワクチンを接種して何ヵ所かかた人、一番早くするのは接種後感染です。恐らくですが、ワクチンの接種によってスパイクタンパクを出し続けて体が癌化しているのでは、そこは感染を疑うことで、症状が早引しているのではないかと、思っています。

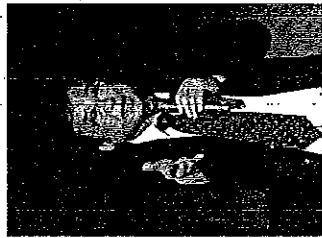
村上：私の友人は、アスター（通称、接種後に半年くらいでコロナ感染して1回治ったのですが、半年間不調が続いたため、調べたら肺炎でした。結構、免疫が弱っていたりウイルスが除けなくなり、症状が早引くんじやないかと、思っています。そういう事例は結構あるんですよ。

市田：治療した時は良くなって、その後再び悪化するパターンは何人かいました。栄養学的に見ても、スパイクタンパクが除去されます。薬は接種しようとは、体は弱りますが、接種を続けるので、体が癌化するのだと、思っています。また接種によって免疫機能が弱くなっていることも考えられます。

市田：薬師、例えば、細胞の中からスパイクタンパクを作り解けることは考えられますか。

村上：初めは1か月でなくなるのではと、思っていました。ですが、論文が発表されるに従って、半年、1年という感じになってきています。

小島：確かに言われたら、スパイクタンパクが影響



村上 健二氏
東京理科大学名誉教授

「XBB 対応型ワクチン接種について考えてみましょう」

9月にはXBB対応型ワクチン接種がはじまりますが、動物実験だけで、ヒトでの臨床試験は全くされていないので、皆さんはもう一度慎重に考えてください。欧米では、接種した人の方が感染やすらう風なことが報告されています。

繰り返し接種すると、問題は、誘導された抗体が交差して、他のウイルスに反応することです。ヒト抗体は種類多岐にわたりますが、その中の一つである、I型抗体は、抗体を誘導すると、他の免疫系の働きを邪魔して、反対に感染しやすくなる可能性があります。この抗体は誘導してはいけない抗体です。初めてのワクチンで誘導された抗体が新しいワクチンで生み出されるスパイクタンパクを不活化できないという事です。スパイクタンパクがまた、山のようにはさまれるのです。このこともしかり、考えないといけません。

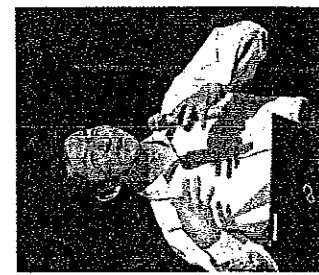
では、どうしたらいいのかという事です。過激接種を立止まらせて、運動とか、栄養面とか、免疫力を回復させていくことが重要だと、思っています。

「大切なことは、体に必要なものを定す、不要なものは引くこと」

健康を維持するには、一般的には「栄養」「運動」「睡眠」「ストレスの除去」「腸を整える」「適度な運動」と言われています。腸が吸収された栄養素がすべて活用されるわけではありませんが、コロナに感染すると、交感神経が優位になると、副交感神経が低下し、消化吸収能力も低下します。一番問題となるのは、不要なものを（栄養や添加物など）を体内に取り入れると、解毒するのは自分の体に必要な栄養やミネラル、ミネラルなどは、体内で消費することです。では、どうすればいいのかが、必要なものを定す、不要なものは引く、このバランスが重要になります。

コロナ後遺症で苦しんでいるのがアスタキニンです。腸の働きが低下している人が多く、便秘を感じます。また、添加物が多く含まれている食べ物を体内に入れないだけで、自分のために栄養を使えます。

今まで食べてきたものの中で、不要なものを2割減らすことができれば、体の負担も減ります。ぜひ取り組んでいただきたいと思います。



村上 健二氏
伏見リハビリテーション病院 院長

新型コロナウイルス感染症からわかってきた最新の事実

- 海外では昨年春以降、追加接種は進んでいない。
- XBB 対応型ワクチンは、薬事承認段階において、マウスでしか試験をしていない。
- 繰り返し接種することで、免疫機能が低下され、免疫が反応しなくなり、ウイルスを受け入れやすくなる。
- ワクチン副反応問い合わせ件数は36,441件^{※1}、死亡報告数は2,075件^{※2}、副反応の症例だけで1,000種類以上ある。(7月28日厚生科学審議会資料から ※1資料1-1-1 ※2資料1-3)
- 添加物など、体に必要ないものを摂取すると、解離に自分の大事な酵素やビタミン、ミネラルなど栄養を消費してしまう。大切なことは、「体に必要なものは定す、不要なものは引く」こと。

するのです。ただ日本では、それを測定したデータを見たことがありません。アメリカの論文では、ワクチン接種後に接種した心筋炎では、スパイクタンパクが血中から検出されており、日本でも血中スパイクタンパクが測定できるという話があります。ワクチン接種後、早期に症状が起きている人の血中から検出されれば、ワクチン後遺症の可能性が高くなるので、このような研究を進めることが大事かなと思います。

市田：市田先生、感謝状で相談を致しておられる立場として、感じるところはありますか。

小島：日本人の割合はワクチン接種をしていますが、感染も増え、早引している人もいます。なので、ワクチンで予防するつもりより、免疫を高める方法を考えることが、どうにか、思っています。

市田：先生方、最後にお願いしたいことはありますか。

小島：世界中でワクチンを頻回に接種しているのは、日本だけです。イスラエルの人は、4回目接種をほとんど行わなかったのですが、感染は激減し、全然問題は起こっていません。

村上：9月からXBB対応型ワクチンを接種すると、10月、11月にもう一度感染が起きて、12月にはもう一回来るんじゃないかと、思っています。やはり、免疫力をあげることは必要で、そのため、免疫を測定することが必要だと、思っています。

市田：まさに、尿や血液で自分の免疫の状態や、ビタミン、ミネラルなど足りているか、足りていないか、一人ひとりからちゃんと自分の体の状態を判断できるように、なることが大切だと、思っています。最大限までは薬理を目指しています。

